国語

TYPE L

2 一

「読み手の立場に立って，文章を整えよう」

～表現の効果などを確かめて，読みやすく分かりやすい文章にする～

推敲する場面において，語句や文の使い方，段落相互の関係について考えることに課題が見られました。そこで，本授業アイディア例では，自分の伝えたいことが分かりやすく伝わるように，読み手の立場に立って文章を整える学習を提案します。教師が提示する意見文を読んで，表記や語句の用法，叙述の仕方，表現の効果などについてよい点や改善点を考えることに加え，そこでの学習を踏まえて自分が書いた文章を捉え直すことを通して，読みやすく分かりやすい文章を書く力を身に付けることをねらいとします。

課題の見られた問題の概要と結果

2 意見文を書く（言葉の使い方）

2一 正答率 **25.1**％　意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する。

学習指導要領における内容

〔第２学年〕
思考力，判断力，表現力等
Ｂ　書くこと　エ

授業アイディア例

学習の流れ

学習の見通しをもつ。
教師が提示した意見文を読み，よい点や改善点について気付いたことを，各自でノートに書く。
書いた内容について，グループで交流する。（第１時）

→ 前時で交流したことを踏まえて，各自で意見文を書く。
書いた意見文について，書く際に工夫した点を，各自でノートにまとめる。（第２，３時）

→ 各自で意見文を推敲する。
学習を振り返る。（第４時）

（言語活動） 読み手の立場に立って，文章を整える。

授業前の教師の準備

2一についての生徒の解答の状況を「解答類型」（令和３年度　報告書　中学校　国語）に照らして把握する。特に，以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

● 「解答類型２」，「解答類型３」，「解答類型99」の生徒
推敲する場面において，語句や文の使い方，段落相互の関係について考えることに課題がある。意見や根拠，具体例といった言葉と，文章の記述とを結び付けて捉えることができていない。

第1時

1 学習の見通しをもつ。

教師

「環境問題」をテーマに各自で意見文を書き，読み手の立場に立って，文章を整える学習をします。まずは，これから提示する意見文を読み，よい点や改善点について考えてみましょう。

意見文のテーマの例
- 環境問題
- ＳＮＳの活用
- 働くことの意義

など

2 教師が提示した意見文を読み，よい点や改善点について気付いたことを，各自でノートに書く。
※　必要に応じて，令和３年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語2一を振り返ったり，本授業アイディア例 P. 6にある「推敲する際の観点の例」を事前に示したりすることも考えられる。

気付いたことを書く際には，印象や感想だけでなく，文章のどの部分のことなのかが分かるようにしましょう。また，書き手の意図や，読み手に与える効果についても考えましょう。

〔教師が提示する意見文の例〕（1から4は，段落の番号。）

1 私たちは日々の生活の中で、多くのプラスチック製品を利用している。私は、その全てが本当に必要なものか、また、使い方を工夫することができないかについて、今一度立ち止まって考えてみるべきだと思う。プラスチック製品は現在、地球の自然環境に大きな影響を与えつつある。

2 先日、テレビの報道番組で「海洋プラスチックごみ」が深刻な環境問題となっていることを報じていた。「海洋プラスチックごみ」とは、不適正な処理によって海洋に流出する廃プラスチック類のことだ。このまま放置しておくと、大変なことになると予想されている。

3 確かに、プラスチックは軽く、加工しやすいなどの利点がある。しかし、自然環境ではほとんど分解されずに、地球上に残り続けることになるという報告がなされている。

4 これからの私たちにとって大切なことは、むやみにプラスチック製品の使用を制限してしまうのではなく、プラスチック製品を安易に使い捨てにしている場面はないか、また、ごみの処理の仕方に問題はないかなどについて考え、改善できるところから取り組んでいくことだ。現在私は、買い物をする際には必ずエコバックを利用したり、商品に示されているプラスチック製容器包装のマークを丁寧に見て、ごみの分別をしたりするようにしている。

❸ ❷で書いた内容について，グループで交流する。

第①段落の最後の文に「からだ」を付けて，「プラスチック製品は現在，地球の自然環境に大きな影響を与えつつあるからだ。」とした方がよいと思います。そうすることで，直前の文で述べている「私は，その全てが本当に必要なものか，また，使い方を工夫することができないかについて，今一度立ち止まって考えてみるべきだと思う。」という意見の根拠であることがより明確になります。

第②段落には，第①段落で述べている意見の根拠となる具体例が書かれていますが，最後の「大変なことになる」という部分が分かりづらいと感じました。読み手にとっては，どう大変なことになるのかが書いてあった方が，書き手の意見に納得しやすいと思います。

書き手は，第③段落で「確かに，」という書き出しで，プラスチックのよい点について述べていますが，こうすることで，第④段落の最初の文で述べている意見により説得力が出ていると思います。

第④段落には，書き手自身が取り組んでいることが書かれていて，「改善できるところから取り組んでいくこと」が大切という意見に共感できました。私も，プラスチック製容器包装のマークやその他のマークに気を付けて，ごみを分別するところから始めたいと思います。

第2時，第3時

❹ ❸で交流したことを踏まえて，「環境問題」をテーマに，各自で 400 ～ 800 字の意見文を書く。
❺ ❹で書いた意見文について，書く際に工夫した点を，各自でノートにまとめる。

第３時終了後の教師の分析

第３時終了後に，ノートの記述内容を分析する。
授業前に把握した「解答類型２」，「解答類型３」や「解答類型99」に該当する生徒が，次の観点についてできているかどうかを見る。

- 表記や語句の用法，叙述の仕方，表現の効果などについて，どのような工夫をしたのかを具体的に書いている。

第３時終了後に不十分だった生徒については，第４時の推敲の様子を観察し，必要に応じて指導する。

第4時

❻ 各自で意見文を推敲する。

ポイント

推敲する際の観点の例

❶ 表記や語句の用法について
文字や表記が正しいか，漢字と仮名の使い分け，語句の選び方や使い方が適切かなど。
❷ 叙述の仕方について
文や段落の長さ，文や段落の役割，段落の順序，語順が適切かなど。
❸ 表現の効果について
説明や具体例，描写などの表現が，自分の考えを明確に伝えるために機能しているかなど。
※ 指導に当たっては，例えば，第１学年では❶，❷，第２学年では，❶～❸，第３学年では，❶～❸に加えて「Ｂ書くこと」の他の指導事項に示された内容に着目して，目的や意図に応じた表現に整えることが考えられる。

❼ 学習を振り返る。

本単元における ICT 活用の例

例えば，ICT を以下の場面で活用することも考えられる。

- 教師が提示した意見文を用いて交流する場面。
- 各自で意見文を書いて，推敲する場面。

また，ICT を活用した「Ｂ書くこと」の学習については，「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の第３編事例２も参考になる。

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」P. 50 ～ P. 57 参照

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_kokugo.pdf

本授業アイディア例 活用のポイント！

- 以下の授業アイディア例と関連させて指導することも考えられる。
・「平成28年度【中学校】授業アイディア例」P.3「要望する文章を書こう」
・「平成28年度【中学校】授業アイディア例」P.5～P.6「係の活動への協力を呼びかけるちらしを作る」
・「平成31年度（令和元年度）【中学校】授業アイディア例」P.7～P.8「読み手を意識しながら，意見文を書く」
・「令和２年度【中学校】活用の参考資料」P.22～P.29「自分の考えが読み手に効果的に伝わるように，説明や具体例を加えるとともに，論理の展開を工夫して書くことができるようにする。」

参照「令和3年度　報告書　中学校　国語」P.27～P.31，「令和3年度　解説資料　中学校　国語」P.18～P.22